

江野澤 よしかつ

えのさわ吉克県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

市内の道路問題で要望!

アクア周辺の都計道路整備を

4月の県議選で、市民の負託を得て3選された袖ヶ浦市選出の江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、早くも6月県議会の一般質問に登壇し、東京湾アクアラインの着岸する金田地区の賑わいから、市内の周辺道路で発生している交通渋滞など、新たな課題を取り上げ、都市計画道路の整備促進など交通問題の解決を強く求めました。

また、イノシシなどの有害鳥獣対策では、被害の多い県南地域でもわな猟の免許試験を実施するよう求め、県は今年度初めて県南で実施することを明らかにするなど、積極的な答弁を引き出しました。江野澤県議の主な質疑を特集しました。



アクア周辺地域の交通問題を訴える江野澤県議

江野澤議員 東京湾アクアラインの着岸地周辺の金田地区では、アウトレットモールが増床したのをはじめ、大型店が次々に進出し、賑わいを見せています。

この中、幹線道路である県道袖ヶ浦中島木更津線では、交通渋滞が発生、周辺道路の整備が急務になっています。金田地区と袖ヶ浦市街地を結ぶ都市計画道路中野畑沢線、西内河根場線及び高須箕和田線は、整備の必要性が高い重要な路線だと考えます。

そこで伺います。都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線の未整備区間について、早期に整備を進めるべきかと思うのですが。
県土整備部長 西内河根場線及び中野畑沢線は、現在、鉄道交差点を工事中の高須箕和田線と接続し、袖ヶ浦駅周辺地区から木更津市金田地区を経て、東京湾アクアラインへとつながる重要な路線です。

6月県議会一般質問に登壇

本路線については、地元市が先行して調査設計を行っているところですが、引き続き地元調整にも協力いただき、平成28年度に予定されている高須箕和田線の完成後、できるだけ早い時期に事業化するよう努めてまいります。

要望 木更津市と袖ヶ浦市が共同で調査・

設計を行うっており、できるだけこのことをやるべく積極的に頑張っている。交通環境の大きな変化があるアクアライン着岸地周辺ですので、ぜひ整備を早くしていただきたい。

要望 旧国道16号では、特に大型車両が最近、非常に増えてきており、朝3時ごろから走っていると聞いています。こうしたアクアライン着岸地の交通体系の変化が非常に大きく

湾岸道路の具体化へ

江野澤議員 東京湾岸道路は、湾岸地域を連絡する幹線道路であり、現在の交通渋滞を緩和しようとするものです。しかし、第二湾岸道路は三番瀬の埋め立て計画が中止になるなど、計画が進展しておりません。

一方、アクアラインが接岸した木更津や袖ヶ浦市周辺では、大きな交通環境の変化が発生し、旧国道16号である県道袖ヶ浦中島木更津線などは、早朝から大型トラー等が通行し、幅員が狭いため、学校周辺等に危険な状況が発生しています。

そこで伺います。東京湾岸道路の木更津市金田地先から袖ヶ浦市今井地先までの間の具体化に向けた取り組みはどうか。

県土整備部長 東京湾岸道路は、経済・産業が集



壇上から森田知事(左下)らに呼びかける江野澤県議

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 議 事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

なっていることをご理解いただき、東京湾岸道路の整備を国に強く要望するよう、お願いします。

県南でわな猟の免許試験を!

有害鳥獣の捕獲対策 県が今年度から実施

6月議会で要望実現



自席から再質問する江野澤県議

昨年、鳥獣保護法の改正が行われ、著しく生息地が拡大している鳥獣による被害が深刻化し、また、狩猟者の減少、高齢化による捕獲の

実施していくことが必要だと、これまで繰り返し述べてきました。防護柵を設置するだけでなく、捕獲を積極的に推進するなどの総合的な対策を

江野澤議員 イノシシやシカ、サルなどの野生鳥獣による農作物被害は、年々増加し深刻さを増しています。被害を軽減していくためには、防護柵を設置するだけでなく、捕獲を積極的に推進するなどの総合的な対策を

農作物の被害が深刻な県南部地域で、有害鳥獣捕獲の主な手段である、わな猟の試験を実施することは、地域における捕獲の担い手を確保するため、効果的であると考えています。

県南部地域では、猟友会の会員が減少し、高齢化していることから、近年は地域ぐるみで被害を防止しようとする取り組みが進んでおり、地域の農業従事者などによるわな猟免許の取得が増えていると聞いています。

このため県では、例年射撃場で実施している試験に加え、今年度はわな猟免許試験を県南部地域においても実施してまいります。

捕獲技術の向上を

江野澤議員 わな猟免許取得者の捕獲技術を向上させるため、県として取り組みを進めてまいります。

このため、新たにわな猟免許取得者に対し、経験豊富な狩猟者を講師として、わなを仕掛ける場所の選定方法や、わなへ誘い込む効果的な方法など、実際に捕獲に役立つ実践的な研修を実施してまいります。

有害鳥獣の捕獲、捕獲後の止めさしや運搬、埋設等の処理が、猟友会と密接な連携を図ることにより、円滑に進むよう、県として支援していくことを強く要望します。

農業生産基盤の整備求め

江野澤議員 国は農政の中長期的なビジョンとして本年3月、新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定しました。今回の計画では、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指し、農業や食品産業などに對する産業政策と、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を促進する地域政策を車の両輪として展開することが特徴となっています。

この計画の中で、農地や農業水利施設を整備する農業生産基盤の整備は、農業の持続的な発展を図るため、重要な施策と位置付けられています。しかし、国の27年度の農業農村整備事業予算は、21年度と比べて60%と大きく落ち込んでいます。

これは、民主党政権時代の政策変更によるもので、自民党政権が復活してから徐々に増えています。また、地域の要望には応えられません。国の農業農村整備事業の予算が削減されている中、県は農業生産基盤の整備についてどのように考えているのか。また、事業費の確保について、国へ働きかけるべきと思うが、どうか。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

意見書2本提出

江野澤県議は、6月県議会の発議案の中で自民党が提出した意見書のうち、2本について提案者となり、議会最終日に採択されました。意見書はそれぞれ、議長名で衆参両院議長や総理大臣などに提出されました。

「自動車重量税廃止と償還制度の拡充を求める意見書」
現行の自動車重量税の廃止と償還制度は、車検有効期間内に一時抹消して、償還期間内に納付済みの自動車重量税は還付されず、さらにその自動車が再度登録された場合、新たに自動車重量税を納付しなければならず、いわゆる税の二重払いが発生することになります。

「農業の持続的な発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書」
農業農村整備事業は、国民が必要とする食料を安定的に供給するための農業生産基盤の整備のみならず、豊かな自然環境や景観の保全、治水等の多面的機能を維持する観点からも欠くことのできない事業です。

しかし、近年同事業の予算は大幅に削減されており、現場のニーズに十分応えられない実態にあることから、同事業の重要性を評価し、予算の確保などに最大限配慮するよう求めたものです。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。

森田知事 農業者の高齢化が進むとともに、後継者の確保が難しい中、地域の農業を将来にわたり維持発展させるためには、担い手への農地集積を進める必要があります。そのためにも、土地改良事業により生産性の高い農地を計画的に整備していくことが極めて重要です。